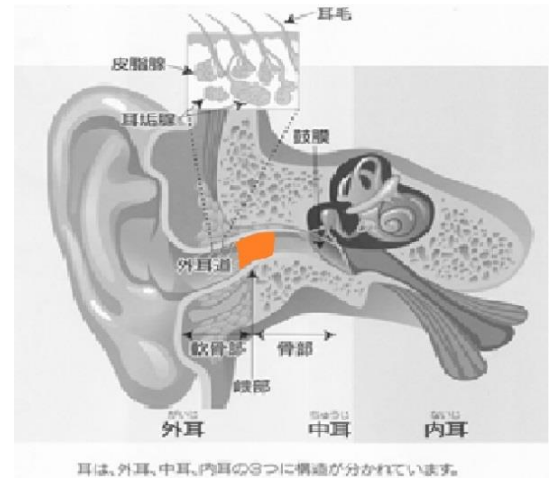


耳垢栓塞



乾性耳垢

湿性耳垢



耳垢とは“耳あか”のことです。

原因と症状（耳の構造と耳垢のでき方、しくみ）

- ・ 外耳道は耳の入り口から鼓膜までの2～3cmほどで、外側1／3は軟骨からできており、そこには耳垢腺、皮脂腺（汗腺の一種）と、耳毛があります。
- ・ 耳垢は耳垢腺と皮脂腺の分泌物、剥がれ落ちた外耳道の皮膚、塵埃などが混じりあってできたものです。
- ・ 乾性耳垢（かさかさ耳）と湿性耳垢（べとべとのアメ耳）は、遺伝的な個人の体質による違いで、アメ耳は病的なものではありません。
- ・ 外耳道には自浄作用（外耳道の表皮が深部の鼓膜側から外側へ移動する作用）があり、自然に外へ排出されるようになっています。
- ・ 耳垢がたまって外耳道がふさがれた状態を耳垢栓塞といいます。耳掃除で耳垢を奥に押し込んだり、入浴やプール後に耳垢が水分を含み膨張し外耳道が閉塞され、聞こえが悪くなったと感じることもあります。時には痛みを伴うこともあります。
- ・ 外耳道が狭い小児や、自浄作用が低下した高齢者では耳垢がたまりやすくなります。

治療（家庭での耳掃除について）

- ・ 耳垢は自然に体外へ排出するため、基本的に耳掃除は不要とされています。耳掃除をするにしても外側をふき取る程度で十分です。
- ・ 耳掃除をしすぎて外耳道を傷つけたりしてしまうと、外耳道炎になる恐れもありますので、注意しましょう。
- ・ 取りきれない場合は、近くの耳鼻科で取り除いてもらうといいでしょう。除去が難しそうな場合は、耳垢を軟らかくするお薬を使用してから取る場合もあります。

新潟市急患診療センター（電話025-246-1199）

<http://www.niigata-er.org>